

平成 29 年度 第 1 回田原市まち・ひと・しごと創生連携会議

委員意見要旨 平成 29 年 6 月 28 日 (水) 開催

(2) 田原市人口ビジョン・田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

(3) まち・ひと・しごと創生関連事業の効果検証について

①雇用の創出・就労促進について

(1-1 創業支援)

- ・同じ事業を 30 年も続けるのは難しい。創業に対する支援は良いが、第二創業（事業の業務転換や別の分野に進出しようとする）を支援していけば、より税収にも寄与できる。
- ・前向きに新しい資金を貸し出すことが金融機関としての命題。新たな事業はスタート時点では小さいかもしれないが、継続して大きな事業になっていくことが期待できる。

(1-5 観光地域づくり)

- ・雇用に関しては、観光業は裾野が広い産業である。ホテルや旅館、観光施設で直接働くということもあるし、そこに食材を降ろす卸業者や生産者が 1 つにならないと観光業は成り立たない。観光業を活性化することで多くの仕事が生み出される。
- ・現在、観光業全般で労働力が不足している。将来、雇用ができないためにお客様をお断りすることもあるかもしれない。

②定住・移住促進について

(2-1 若者・臨海企業従事者の市内定着・定住促進)

- ・定住移住促進奨励金の効果が転出抑制数に表れていると考えられる。重要業績評価指標 (KPI) になっていないため表に出ていないが、そういうのがあると効果がわかる。

(2-2 サーファー等の移住促進)

- ・サーファー等の移住促進で、非常に効果があったということ。ユニークな取組でよい。サーファーで移住してきた方というのは何かしら仕事をして居つので、ライフスタイルを持ち込むことになる。それが何か新しい雰囲気を作って、また新しい人が移住する。住宅団地を作ってそこに住んでもらうではなく、地元・地域に根付くとか、そういった考え方で進めていったほうがよい。

(2-3 空き家活用推進)

- ・空き家・空き地バンクの登録を募っているが、なかなか集まらないということだった。空き家に入りたいというニーズが元々少ないため、集めるのは難しいので巧みな仕掛けが必要である。
- ・取組によってどれだけ入居したかという仕組みづくりをしていかないと、空き家・空き地バンク制度は動かない。

- ・「2-1 若者・臨海企業従事者の市内定着・定住促進」、「2-2 サーファー等の移住促進」、「2-3 空き家活用推進」の各施策はバラバラではなくて、関わりながら進めていくものである。

③若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現について

(3-1 結婚・出産支援)

- ・婚活のやり方ももう少しナチュラルになれば良い。ボランティアや他の活動で出会いの機会を作る方が成果は上がる。
- ・子どもが生まれた家庭を訪問している。移住して田原市に来たお母さんの悩みとして、「田原市のどこに何があるのかよく分からない」といった声を聞く。

(3-2 医療体制の充実（産婦人科・小児科））

- ・若い人たちが田原市を訪れて、出産・子育てが安心してできるために、当直体制とワクチン体制が大切である。ワクチンを打つ医者数を今後維持できるかということを心配している。

④地域の魅力・住み良さの向上について

(4-1 市街地の活性化)

- ・三河田原駅周辺を整備するために準備している。駅周辺もだいぶ賑わってきた。人が賑わうと、商店も出てくる。

(4-3 公共交通ネットワークの確保・維持)

- ・平成 29 年 4 月からぐるりんバスの路線やダイヤの変更があった。どの地域も利用状況に関しては厳しいものがある。それぞれのコミュニティが心配している。
- ・公共交通の利用者数に大きな変動があることが分かった。多くの人は、「自分が高齢者になって運転できなくなったらどうしよう」と心配している。

(4-5 医療体制の充実（地域医療））

- ・医療体制の充実に関しては問題点が多々あるが、田原市だけでどうにかできる問題でもない。
- ・田原市の医療を充実させるためには、医師を増やすことがまず大事。赤羽根地域に診療所を開設できる目処が立ったということなので、1 人でも確保できれば田原市の医療としては心強い。都会でも田舎でも 365 日は同じで、当直を考えるとやはり医師の数は大事である。
- ・医師確保のために市が奨学金の制度を設けているが、将来田原市に来てくれるか心配している。それはまだまだ医局体制が根強く、やはり医局の枠の中で人材が動いているからである。
- ・幅広い分野が網羅されているため、どの分野に力を入れていくのかを明確に示していただきたい。
- ・重要業績評価指標 (KPI) から見えてくるものがある。重要業績評価指標 (KPI) の数字の自己分析をしっかりとっていただきたい。